

## 【 臨床研究に関する情報の公開 】

放射線治療を目的に当院を受診された患者さまの試料・情報を用いた医学系研究に対する  
ご協力のお願について

項 目	内 容
1. 研究課題名	放射線治療を受ける進行・再発固形がん患者のリハビリテーション介入前後の身体機能変化
2. 研究の対象者	2021年 3月 1日から 2022年 7月 31日の間に、当院の腫瘍内科入院中に放射線治療並びにリハビリテーションを受けられた方
3. 研究期間	令和4年 8月 1日 ～ 令和 5年 2月 27日
4. 研究実施体制と研究責任者	研究実施場所：関西電力病院 リハビリテーション部 研究責任者：リハビリテーション部 掛谷 佳昭 共同研究機関：なし 資料・情報提供機関：なし
5. 本研究の意義・目的	近年、放射線治療中のリハビリテーション介入の有効性が報告されています。乳がんや前立腺がんの患者様では、放射線治療中の運動療法は有害事象のリスクが低く、身体機能を改善させると言われていますが、他の進行・再発固形がん患者様に対して運動療法の効果を検証した報告はありません。そこで、本研究では当院に入院し、放射線治療を受けた進行・再発固形がん患者様のリハビリテーション介入前後の身体機能を調査します。
6. 研究の方法	本研究は後方視的研究です。診療録（カルテ）、データベースより身体機能評価、生理検査などを情報収集し、リハビリテーション介入開始時と退院前で前後比較します。個人の特定が可能な情報は解析に用いません。特に患者様に新たにご負担頂くことはありません。
7. 研究に用いる試料・情報の種類	個人情報（病名、年齢、体重、BMI、性別、GNRI、既往歴）、血液検査データ（CRP、Alb、LDH、WBC、Hb、Plt、好中球）、治療方法（放射線療法、化学療法）、身体機能評価（PS、握力、MMT、SPPB、片脚立位時間、6分間歩行、IPAQ、PRPS、Barthel Index、エドモントン症状スケール）、入院期間、リハビリ介入期間
8. 試料・情報の保管方法と廃棄方法	情報管理担当者が研究用パソコン内にデータとして保管し、施錠可能なデスクにおいて保管管理します。 廃棄については、研究発表後、5年間保管し、データ廃棄の際は、複数名で完全にデータを消去したことを確認します。
9. 個人情報の保護について	情報収集には、診療IDや患者識別コード等を用いることで匿名化されています。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者へ知られたりすることはありません。研究にご自身の臨床データや試料を提供したくない場合は、11. 問い合わせ・苦情等の窓口へお申し出ください。お申し出いただいても、診療等に不利益が生じることはありません。
10. 情報管理責任者	関西電力病院 リハビリテーション部 掛谷佳昭
11. 問い合わせ・苦情等の窓口	〒553-0003 大阪市福島区福島2丁目1番7号 関西電力病院 リハビリテーション部 掛谷佳昭 電話：06-6458-5821（代表）